

AA19960011J1

上昇率は2.1%

(文 部 省)

平成8年度私大の学納金調査

教育新聞
11/19

文部省は、このほど、平成
八年度の「私立大学入学者初
年度学生納付金平均額(定員
一人当たり)調査」の結果を

平成8年度私立大学(昼間部)入学者に係る初年度学生納付金平均額(定員1人当たり) 集計校 414校(414校中) 集計率 100%

区分 関係学部別	授業料		入学料		施設設備費		合 計		上 昇 率
	7 年 度	8 年 度	7 年 度	8 年 度	7 年 度	8 年 度	7 年 度	8 年 度	
文科系	646,660 円	662,310 円	277,891 円	281,588 円	165,337 円	170,656 円	1,089,894 円	1,114,554 円	2.3 %
理料系	836,353	853,429	258,449	262,560	192,152	194,692	1,286,954	1,310,681	1.8
医歯系	2,507,033	2,545,798	1,078,559	1,101,201	930,051	950,634	4,515,643	4,597,633	1.8
その他の	716,401	733,229	314,553	323,399	180,205	188,576	1,211,159	1,245,204	2.8
全 平 均	728,365	744,733	282,574	287,581	182,028	186,035	1,192,967	1,218,349	2.1
対前年度上昇率	2.8 %	2.2 %	0.6 %	1.4 %	△ 0.9 %	2.2 %	1.7 %	2.1 %	-

(注) 東京慈恵会医科大学医学部看護学科、久留米大学医学部看護学科は、医歯系医学部に含まない。

課上校	課上校数	課上校の比率
255 校	248 校	63.1 %
67 校	72 校	16.6 %
107 校	101 校	26.5 %
271 校	253 校	67.1 %

まとめた。
私立大学(昼間部)四一四校を対象に、初年度の学生納付金(授業料、入学料、施設設備費)などについて集計したもので、全校から回答(一〇〇%)を得た。納付金平均額の算定に当たっては、平成七年度入学金定員を用いて加重平均している。

これによると、平成八年度には、調査大学の六八・四%に当たる二八三校が値上げを行い、学生一人当たりの納付金平均額は前年度に比べ二・一%増の二二二万八、三三四円となった。

このうち、授業料については、五九・九%に当たる二四八校が値上げしており、平均額は二・二%増の七四万四、七三三円。入学料については一七・四%に当たる七二校が値上げしており、平均額は一・八%増の二八万七、五八一円。施設設備費については二四・四%に当たる一〇二校が値上げしており、平均額は二・二%増の一八万六、〇三五円となった。

関係学部別にみると、神・仏教が最も上昇率が高く、三二・二%の八八、〇〇八円、高等専門学校が二・六%増、次いで家政二・八%増、薬二・六%増、法・商二・四%増、文・教育二・三%増となっている。

また、医・歯系については一・六%増の四六七万三、四八九円であるが、授業料等に実験実習費等を加えると医学部は全体で一・〇%増の九五万四、三三九円、歯学部は全体で二・九%増の九六九万六、八六一円となった。

また、短期大学(昼間部)の初年度学生納付金平均額は、一・八%増の一〇九万二、〇〇八円、高等専門学校は、七・一%増の八八万九、九二九円となった。

なお、調査大学のうち、学納金の額について、人事院勤労消費物価指数等に応じて定め、かつ、その額を卒業時までに固定しないで毎学年変動させるスライド制を実施している私大は、昨年より二校増え、全体の四六・九%に当たる一九四校であった。